

第93回キネマ旬報ベスト・テン 第37回日本映画復興奨励賞

아이들의 학교
子ども
アイたちの学校

高賛侑監督 最新ドキュメンタリー

ワタシタチハ ニンゲンド!

WATASHITACHIWA NINGENDA!

우리들은 인간이다 Chung talá con nguôl Kami adaláhi manusia நாம் மனிதர்கள் Ons is mense
Wir sind Menschen ၏ဝိသေသနာယူဝိသေသနာ O tatou o tagata Nós somos humanos
Ανθρώποι είμαστε Homines sumus Som humans ʻŌleke ʻāwaukēle Singabantu يا تاتو يا تاجاتا
نحن بشر He kanaka mākou พระมหากษัตริย์ Bez keshelap Dynion ydyn ni Emberek vagyunk
Sisi ni wanadamu അന്യർ ഇടനാട് Anyi bu mmadu Olombelona isika Wij zijn mensen МИ СМО ЛЬУДИ
Vi är människor Jsme lidé Is daoine muid Ми люди Siamo umani 我們是人類 We are humans

監督／高賛侑

制作／「ワタシタチハニンゲンド!」制作委員会 企画／ライフ映像ワーク

撮影／高賛侑、小山帥人、松林展也 撮影協力・編集／黒瀬政男 テーマ音楽／Akasha

音響効果／吉田一郎 整音／朴京一 ナレーション／水野晶子 宣伝美術・タイトルロゴ／高元秀

ドキュメンタリー／2022年 114分

外国人学校に対する官製ヘイト、
技能実習生、難民、入管の実態など
外国人差別の本質にせまる

上映会&トーク

日時 3月18日（土） 14:00-16:30

進行： 島本奈央・瀬戸麗（大阪大学大学院）

監督・高賛侑 × 榎井縁（人間科学研究科未来共生プログラム）

場所 吹田市山田丘1-2 大阪大学人間科学研究棟本館5F

キャノピーホール（開場 13:30）



「私たちは動物ではない。人間だ！」



ホームページ
http://ningenda.jp

2021年3月、スリランカ人女性ウイシュマ・サングマリさん(33)が名古屋入管で死亡した。彼女の死は長年ベールに包まれてきた入管の闇を、公権力による外国人差別の歴史を象徴する事件と言って過言ではない。戦後、日本政府は、在日外国人の9割を占めていた韓国・朝鮮人の管理を主目的とする外国人登録法などを制定した。そして後年、他国からの在留者が増えると、全ての外国人に対する法的・制度的な出入国管理政策を強化してきた。

◆在日コリアン／高校無償化制度から朝鮮学校を排除。幼児教育・保育の無償化制度から外国人学校を排除。◆技能実習生／長時間・低賃金労働。暴力・不当解雇・恋愛禁止等の人権侵害事件多発。◆難民／難民認定を極端に制限。認定率は諸外国の20～50%に比べ、日本は1%未満。◆入管／被收容者に対する非人道的な処遇が常態化。

高賛侑監督は前作「アイたちの学校」で朝鮮学校差別問題に焦点を当て、国内外で大きな反響を呼んだ。本作品では、全ての在日外国人に対する差別政策の全貌を浮き彫りにする。



**定員
主催**

**100名 参加費無料・ 申込み不要
大阪大学未来共生プログラム**

大阪大学未来共生プログラムは、博士課程で、地域や実践の現場から学ぶことを積み重ね、10周年を迎えました。今回の上映会&トークイベントは、プログラム5期生の履修生の島本奈央さんと瀬戸麗さんによって企画されました。当日にはその思いについても語ります。大学院生、大学生、一般の方も大歓迎です。是非いらしてください。

